

# 演奏にあたってのお願い Vn I & Vn II

2005.6.19

## 「金と銀」

パート Vn I/Vn II	小節 番号	場 所	演奏のご参考に！
		冒頭	短前音は拍の頭。鋭く短く。8分音符はコケないように、落ち着いて。
	9-10		付点8分音符が短くなりやすいので、注意してください。
		ワルツ1の前8小節	4小節間 p (ピアノ)です。スケールは小さな音で正確に。
		ワルツ1 アウフタクト	G開放弦は自信を持って頭からしっかりした音を響かせて(アクセントはナシ)。左手でネックを塞がないように。
		ワルツ1	ホルンだけでなくVnもちゃんと聴かせるという指示がありました。一番いい音が出るポジションで！
		ワルツ1	ハーブの分散和音を耳に入れながら弾きましょう。リピート後の2回目は pp です。
		2カッコの後	1拍目の8分音符2個は前のめりになるようにツメて、2、3拍目で後ろに戻します。
		ワルツ2	このアウフタクトと1拍目の短前音をしっかり弾けるようにその前から準備して。最初の1小節が勝負です。
		ワルツ2	ワルツ2の2段目のフォルテが頂点ですが、そこから pp の前までフォルテを維持し、pp 1小節前で少しおさめて。
		ワルツ3 最初の2小節	付点4分音符と8分音符はつなげず、少し間を開けて。さらに、8分音符と4分音符はツメて、重くならない。
		ワルツ3 5小節目	付点4分音符の長さは指揮をよく見て、8分音符3つはツメて。
		ワルツ3 1カッコ4小節目	この小節は3つに振ります。プレーキがかかりますので指揮をよく見て。
		ワルツ3 後半	皆さんのG線の威力を見せつけてください。もちろん全部でなく、ちゃんと音が鳴るところだけG線でいいです。
		コーダ 最初の3小節間	しっかり音を取っておいってください。2、3小節目の8分音符は少しツメて。
		最後	最後の小節に入る前に、必ず弓を上げてください。つまり、つなげないで、間を開けるということです。

## 「メリー・ウィドウ」

### Nr.1 Introduction

	42	Marcia	8分休符に突っ込まないように。44小節も。
--	----	--------	-----------------------

### Nr.2 Duett ヴァランシエンヌとカミーユ

		14小節まで	16分音符2個は、ツメて、2個目はできるだけ短く
		14小節まで	Vn II の4分音符はスタカート気味に。
	17		ためらわずに、指揮を見て入ってください。
	30		2分音符、特に Vn I は狙って。とっとも目立つ箇所です。
	48		3拍目の頭は8分休符にしてください。その後の3連符は遅れないように。

### Nr.4 Auftrittslied ダニロの歌

	5~8		しっかり音を取っておいってください。ボーイングが変わりましたのでご注意ください！80小節から最後も。
	49		アウフタクトが少し伸びるかもしれません。しかし、49小節に入ったら少し前に行きます。指揮をよく見ましょう。

### Nr.7 Vilja-Lied ハンナの歌

	121		全体的に薄い音で、美しく。
--	-----	--	---------------

### Nr.9 Marschseptett オケのみ

			元々歌の伴奏でしたが、今回は歌抜きで演奏します。ピアノ(p)と書いてあっても大きめにしっかり弾きましょう。
	20	2拍目のウラから	ほんの少しプレーキがかかります。指揮者をよく見てアウフタクトで飛び出さないように！
	20	2拍目のウラから	Vn I が少しだけプレーキをかけますので、フォルテだからって勢いにまかせないで！最後の音はできればピアノで。
	88		この小節だけでいいですから、可能な限り大きく！ 但し、刻みは力むと却って音が出なくなるのでご注意ください。

### Nr.14 Chanson ヴァランシエンヌとハンナ

	9	アウフタクト 42も	ここから、ほんのひと目盛りテンポを上げます。しかし、大事なのは気分をガラッと変えることです。
	18		スピドでテンポ、プリモ、元のテンポに戻ります。

### Nr.15 Duett ダニロとハンナ

	66	82まで	ここはオケだけなので、やや大きめに、しっかり弾きましょう。
	83		ここからダニロとハンナがいっしょに歌います。歌いだしはテンポが揺れますので、歌を聴いて！
	最後	6小節間	1小節をひとつで振ります。遅れないように。

### Nr.16 フィナーレ

			追加したりピートを忘れずに。 楽しく陽気に！
--	--	--	------------------------

## 終わりに

陽気な曲です。コワイ顔をしないで…笑ってとは言いませんが、楽しく弾きましょう。こういう機会はめったにないですから。歌をよく聴き、いっしょに呼吸するつもりで弾いてみてください。自分が一番好きなところ、そこを心を込めて弾いてみてください。実際は、Nr.4 と Nr.7 の間に「金と銀」を演奏します。

Good Luck !